



防災通信



加入世帯
回覧

2026年7月号
和合町自主防災隊

「黄色いタオル」について

和合町自主防災隊では、全戸に「黄色いタオル」を配布しています。

大きな地震が起こった時に使うものとの認識があっても、その目的や、使用方法について、もう一度皆さんに知っておいていただきたいと思います。

「黄色いタオル」

目的：災害(地震)が発生したときに、素早く人命救助ができるために使います

使い方：①震度6以上の地震が発生し、自分が(家族が)無事な時は、玄関先にタオルを出してください。

②自分が無事な時は、ご近所同士で、黄色いタオルが出ているかを確認して、出していないお宅には、声をかけてください。

③声をかけたお宅で、命に係わるけが人等がいる場合は、部隊(部隊長・部付きの副会長)に連絡をし、救助等の要請を行って下さい。各部隊は防災倉庫に立ち上げ、防災対策本部と連携しながら支援活動を行います。

※大きな地震が起こった時は、おそらく119も110もうまく繋がりません。

よって、自主防災隊の組織内で救助、消火、救護などを行うこととなります

皆さんが、無事であり、黄色いタオルを出していただくこと、また、ご近所同士で声掛けを行っていただくことで、素早く、助けが必要な人を見つけることができ、救助に繋ぐことができます。

黄色いタオルを使つての自主防災隊による安否確認は少し落ち着いた時点で行います。

この安否確認は、人命救助のためではなく、自治会として和合町の住民の安否を確認し、災害の現状を把握し、名簿を作成し、支援体制に繋ぐために行うものです。



よって、「黄色いタオル」は、ご近所同士で、けが人等、救助が必要な人がいるかどうかを確認するための道具です。人命救助は、ご近所同士の連携があつて初めてできることです。

普段からご近所同士のつながりを大事にしておいていただくことは、とても大切なことです。

※ 黄色いタオルは、いつでも出せるようにしておきましょう。

訓練用の物ではありません。自分が安全であれば、必ず出す。そうすれば、ご近所同士で声かけの手間が省け、救出、救助に早く繋げることができます。